

キンダーブック じゃにあ 2月号



表紙の
絵から

雪の上でそり遊びをしているちゅうくんたち。寒くても元気いっぱいです。「みんなはそりをしたことはあるかな?」「もし雪が積もったら何をして遊びたい?」などと尋ねて、楽しい雪遊びを想像してみましょう。

「いれて!」「いいよ!」

ねらい 友だちとの関わり方を知り、いっしょに遊ぶことを楽しみましょう。



「友だちといっしょに遊びたいとき、どうしたらいいかな?」「みんなだったら、どう声をかける?」などと、子ども自身が考えられるように話を進めましょう。

「ちゅうくん、「いれて」って言ったね」「ぶうたくんとみみこちゃんは、すぐに仲間に入れてあげたね」と、友だちとの気持ちのよいやりとりに注目してください。



ちゅうくんたちが楽しく遊んでいる姿を見て、「友だちに『いれて』や『いいよ』が言えると、いっしょに遊べてうれしいね」と話しましょう。友だちとなかよく遊ぶ楽しさを伝えられるとよいですね。



よちよち ペンギン



ねらい ペンギンについて関心を持ち、からだの特徴を知りましょう。

つかい方のポイント 雪の上をよちよちと進むペンギンの歩き方をまねして楽しみましょう。また、ペンギンは鳥の仲間だけれど、空は飛ばず、海をじょうずに泳げるなどの特徴も伝え、より興味をもてそうです。

おにさん がんばる!



ねらい がんばるおにさんのお話を楽しみながら、節分の行事に親しみましょう。

つかい方のポイント 子どもたちを怖がらせようと張り切るおにさんの姿に注目し、親しみがもてるように読んでみましょう。福豆や恵方巻きなどについても話して、節分の行事に関心が広がるとよいですね。

「キンダーブックじゅにあ」を 保育にご活用ください!

絵本をつかった指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
<p>「いれて!」「いいよ!」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友だちといっしょに遊びたいときの関わり方を知り、身につける。 友だちといっしょに遊ぶことが心地よいと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者は子どもたちのようすを見ながら、「いれて」「いいよ」などのことばでのやりとりができるように配慮する。 遊びをとおして他人との関わり方を伝えられるよう、ときには子ども同士の思いを代弁しながら支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係 言葉
<p>「よちよちペンギン」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ペンギンに興味を持ち、からだの特徴を知る。 ペンギンの歩き方を模倣し、からだを動かして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本誌や図鑑などを用いて、ペンギンのからだの特徴を視覚的にわかりやすく伝える。 ペンギンの歩き方を保育者が実際に模倣してみせ、子どもたちもやってみたいと思えるよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境 言葉 表現